

吉益南涯 医案①

一婦人 胃反を患うこと此に於いて九年、衆医を経て、未だ嘗て些しくも其の効を取らず。因て先生を迎う。之を診るに、其の腹 攣急して上下相連なる。吐すと雖も、然れども渴せざるなり。食 口に触れて爽快ならず。曰く、此れ心胸の間、支飲有るが故なり。則ち茯苓飲を与え、服すること数日にして愈ゆ。